

### ■団体登録更新のお願い 締切日は2月15日

現在ご利用いただいている当センターの団体登録期限が、3月31日で満了となります。郵送している更新手続きの資料をご確認のうえ、引き続き登録を希望される場合はお早めに必要書類の提出をお願いします。新規登録についても随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

### ■第14回かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラムについて

公益的な市民活動団体にパソコンを寄贈する、かながわイーパーツリユース PC 寄贈事業の第14回プログラムが行われます。予定されている日程は以下のとおり。詳細については当センターにお問い合わせください。

募集期間：4月10日(月)～6月30日(金)  
審査会：7月18日(火)  
贈呈式：8月26日(土) 茅ヶ崎市役所本庁舎内

### ■「団体交流会」開催のお知らせ

年に一度行っている団体交流会を3月に開催します。日々の活動を通して感じていることや体験などを互いに共有し、今後の取り組みにつなげる機会にしたいだけだと思います。詳細については各登録団体に改めてご案内します。みなさまの参加、お待ちしております。

日時：3月25日(土)15:30 受付開始、16:00 開会  
場所：中央公民館3階講堂

### ■ホームページのリニューアルについて

2017年、当センターのホームページをリニューアルします。現在、準備の整ったページから順次更新しています。登録団体の紹介や利用できる設備、助成金情報などのこれまで掲載している内容に加え、市民活動に関する情報を随時アップしていきます。ぜひご利用ください。



リニューアルした当センターのホームページ

### ■パソコン&ポスタープリンター講習会

毎月最終土曜日(3月は第3土曜日)、パソコンの基礎的な操作や当センターにあるポスタープリンターの利用方法の講習会を開催します。

日時：2月25日、3月18日、4月29日  
(いずれも14:00～16:00)

対象：登録団体の所属、  
もしくは公益活動をしている方

定員：5名(要予約、毎月2日から受付)

参加費：100円

場所：市民活動センターあやせ

※パソコン講習、ポスタープリンター講習を同日開催します。両講習合わせて5名の定員となっており、両方への参加はできません。



#### 【編集後記】

登録団体のみなさま、本年度も快く取材に協力していただきありがとうございました。市民の方に綾瀬の市民活動を紹介し、一人でも多く参加してもらえよう、これからも情報提供していきます。来年度も5月、8月、11月、2月にそれぞれ発行しますので、引き続きよろしくお願いたします。(長谷川)

### 市民活動センターあやせ

〒252-1103 綾瀬市深谷 3838 中央公民館内

TEL&FAX：0467-70-1232

Eメール：ayasenposc@gmail.com

開館時間：9:00～22:00

休館日：火曜日、毎月第3水曜日、年末年始

登録団体数：139団体(2017年2月現在)

※ホームページもあります。  
「市民活動センターあやせ」で検索してください。



## 障がいを抱える人に理解のある地域を目指そう — 障がい者を支える綾瀬の活動 —

昨年相模原市で起きた痛ましい事件は、多くの人にとって障がい者福祉について考える機会になったのではないかと思います。地域で何ができるのか。今号では、綾瀬の市民活動団体が取り組んでいる支援活動を紹介いたします。

### 地域と共に生きる場所を

特定非営利活動法人 綾瀬あがむの会

あせらず、がんばらず、むりをせず。精神障がい者を持つ家族の想いから名づけられた特定非営利活動法人 綾瀬あがむの会は、2003年に発足しました。社会復帰を支援する地域活動支援センター「ファミリー」と安定した生活を支援するグループホーム「ピースA」の運営を始め、精神疾患への理解や精神保健福祉の増進を図る普及活動、家族に対する支援活動などを行っています。

「綾瀬で気軽に使える場所がなかったのが会を立ち上げたきっかけです。ファミリーは本来社会復帰を目指す場所ですが、居心地がよいのか、利用し続ける方が多い。うれしい悩みでもあります」と笠間治一郎理事長は言います。ファミリーは現在34名が利用しており、受注作業、編物製品等の自主製品制作、レクリエーション活動などを提供しています。



ファミリーの利用者が作業している様子

発足当初からテーマとしているのが「地域で共に生きる」。それを最も体現しているのが毎年開催しているファミリー秋祭りです。自主製品やフランクフルト、うどん等の販売、押し花体験などを行っています。地域住民にも協力を仰ぎ一体となって準備しているイベントで、毎回100人ほどの参加者が集まり賑わっています。笠間理事長は「精神障がい者の方にとって地域の方との交流は大切な時間です。みなさんの会話を楽しんでいる姿を見るのが何よりの喜びです」と話していました。



ファミリー秋祭りの様子

### くらしに必要な情報を音声訳で

綾瀬市録音赤十字奉仕団コスモスの会

1982年から活動を続けている綾瀬市録音赤十字奉仕団コスモスの会は、市で発行する広報あやせや市議会報、綾瀬市社会福祉協議会発行の社協だよりなどを音声訳し、視覚障がい者に情報を届け



広報あやせを録音している様子

ている団体です。27人いる会員は50～70代が中心で、「音声訳は体力がなくてもでき、声を出すのが好きな方が集まっています。依頼があれば応えるのが会の方針です」と奥田房江会長は同会を紹介し

ます。活動日は毎週火・木曜日。担当パート決めや注意点の確認をする編集日と、実際に音声訳をする録音日を交互に設けています。要望に応じて書籍や各種取扱説明書、資格取得のための教材なども音声訳するほか、対面朗読にも対応。市内の支援団体と連携して視覚障がい者との交流会の企画や、音声訳ボランティア講座も行っています。

奥田会長の話によると、現在30人以上の視覚障がい者が音声訳を利用していますが、当初は1人しかおらず、その人が市内を訪ね歩いて利用者を増やしていった経緯があるそうです。「障がいのある方は遠慮のかたまりで、迷惑をかけたくないという意識が強い。そんなみなさんにたくさんの音声訳を届け、支える人が身近にいることを実感してもらえたらと思います」と語っていました。

## 会話を通じて互いの理解を深める

綾瀬市手話サークルあやの会

「聴覚障がい者の方は、見た目ではわからないので誤解されていることが多いのですが、実際に接すると明るい方が多いですよ」。そう話すのは綾瀬市手話サークルあやの会の数崎千枝会長。現在の会員は40人。市が主催する手話講座を受講した人や家族が聴覚障がいを持っている人、職場で手話を必要とする人などさまざまです。

1978年に活動を開始した同会では、毎週水・木曜日にサークル活動を実施、綾瀬市聴覚障害者協会から講師を招いての手話学習、テーマを決めて会話をする交流会、テーマ自由の発表会などを行っています。また、サークル活動には聴覚障がいを持つ人も多数参加しており、障害への理解を深める場にもなっています。このほか、綾瀬市聴覚障害者協会と合同の社会見学やクリスマス会を企画、市内小学校の福祉事業もサポートしています。

数崎会長によると、市内に手話通訳士の有資格者は5人しかおらず、聴覚障がい者の日常生活にはまだまだ制約が多いとのこと。「子どもの頃から接する機会をつくって理解のある市民を増やしたい。みなさんのくらしが豊かになるよう、ろう者の言語である手話技術の習得・向上に励み、交流と支援の輪を広げていきます」と今後の目標を話していました。



手話学習をしている様子

3団体を取材して共通していたのは、障がい者のことを自分のことのように語り、抱える問題に取り組んでいることです。いずれも支援する人材が不足している現状もあるようなので、関心のある方は身近で活動している団体にも注目してほしいと思います。各団体については下記までお問い合わせください(掲載順)。

※特定非営利活動法人 綾瀬あがむの会  
0467-70-7282 (地域支援活動センター ファミール)

※綾瀬市録音赤十字奉仕団コスモスの会  
0467-70-3210 (あやせボランティアセンター)

※綾瀬市手話サークルあやの会  
0467-70-3210 (あやせボランティアセンター)

# 市民活動センターあやせよりお知らせ



## ■市民活動交流カフェ「今年の干支は『酉』!! かながわ鶏を堪能だ!!」開催のご案内

2月に市民活動交流カフェを開催します。詳細は以下のとおり。参加を希望される方は当センターまで連絡ください(要予約)。

日時: 2月17日(金) 18:30～

場所: 中央公民館講堂

内容: 神奈川県初の肉用鶏  
「かながわ鶏」の説明と試食会

講師: かながわ肉用鶏推進委員会  
神奈川県畜産技術センターの皆様

対象: 市民活動団体所属の方  
市内在住・在勤・在学の方

定員: 50名(申込順)

参加費: 300円(試食代金ほか)

申込締切: 2月13日(月)

## ■「春のチャレンジボランティア体験」開催 & 受け入れ団体募集

(1) 市民・学生の方に市民活動団体でボランティア活動をしてもらう、春のチャレンジボランティア体験を3月20日頃から4月上旬にかけて実施します。さまざまな活動を気軽に体験できる機会です。過去の体験者からは「ふれあいなど貴重な体験ができた」などの感想がありました。準備が整い次第、当センターや広報あやせ等でお知らせします。

(2) 実施に向け、受入れ市民活動団体を募集しています。これまでに受け入れた団体からは「いい刺激をもらった」などの声が寄せられました。

受け入れ条件: 当センターの登録団体で、3月20日頃～4月上旬に実施する事業(1団体で複数の事業の受け入れも可)

受け入れ団体募集期限: 2月12日

## 地域づくりリーダー養成講座「WE LOVE AYASE」開催のご報告

去る12月3日、当センターの地域づくりリーダー養成講座「WE LOVE AYASE」をオーエンス文化会館小ホールで開催しました。加藤武夫氏、大部さつき氏、大光寺圭氏、島田悠司氏の4名に綾瀬への想いをそれぞれの立場から語っていただきました(急病のため来場できなかった加藤武夫氏については、ご用意いただいた会長を務める目久尻クリーン会の活動を映像で紹介しました)。

当日は約100人が来場、参加者からは「前向きに地域づくりに取り組んでいる人が自分の近くに数多くいらっしゃることに感動し綾瀬の可能性を実感した」(60代男性)、「つながると大きなことに挑戦できるんだなと思いました。今日来てよかったです」(10代女性)、「がんばっている綾瀬の皆様がうらやましく感じました」(50代女性、藤沢市民)といったアンケートへの回答がありました。

### 福祉をテーマに講演



大部さつき氏

(ともしびショップむ〜代表)

障がい者も地域に育てられてみんな成長しています。障害と向き合うのではなく、一人の人間としてぜひ向き合ってください

### 音楽をテーマに講演



大光寺圭氏

(ミュージシャン)

やりたいことを信じて貫いてほしい。悩むこともあるだろうけど、育ったまちは普段の自分に戻れる場所。私にとってはそれが綾瀬です

### 教育をテーマに講演



島田悠司氏

(LITARICO 社長室)

周囲の応援してくれる人の存在はとても大きい。子どもの可能性を信じて支えるまちになれば、綾瀬から社会で活躍する人がきっと増える